

大阪大学図書館報

Vol. 18, No.1/2 June 1984

目 次

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ○CAS ONLINE 情報検索サービスの開始について | ○教官著作寄贈図書 |
| ○引用検索 (2) 研究の先端情報 | ○会 議 |
| ○大型コレクション購入一覧 (昭和57・58年度) | ○日 程 |
| ○昭和58年度 国立大学等図書館間文献複写実績 | ○人 事 |
| ○いちょう祭展示会開催 | ○編集後記 |

CAS ONLINE 情報検索 サービスの開始について

附属図書館では、学内研究者の強い要望に応じて、国立の大学図書館としては初めて4月から米国のChemical Abstracts Service (CAS)の提供している、CAS ONLINE 情報検索システムのサービスを開始しました。

CAS ONLINEは、概に冊子体で刊行されているChemical Abstractsのデータを、電子計算機に入力し検索可能としたもので、次の2種のデータから構成されています。

(1) Registry File

CASの化学物質の辞書にあたるもので、1965年以降にCASに登録された約660万の化学物質について、CAS化学物質登録システムに基いて付けられた登録番号(CAS Registry Number)と名称(Index Name)及び、その構造や一般名称が入力されています。(図1参照)

Registry Fileの大きな特徴は、構造図による検索が可能であるということです。

化学物質は、命名法によって種々の名称がつけられており、ある構造を持った化学物質が、どのような名称であるかを知ることは、その分野に精通した研究者でなければ、困難なことです。しかし、Registry Fileの構造による検索の機能を用いれば、どの様な化学物質でも同定することができます。また、化学物質の中から、指定した化学構造をその構造の一部に持つものを探し出すことは、かなり面倒な作業ですが、Registry Fileの部分構造検索機能を用いれば、簡単に行うことができます。もちろん、一般に用いられている慣用名から、化学物質を同定することも可能です。

このようにして希望する化学物質が見付け出されれば、その登録番号をキーとして、文献情報を納めたCA Fileを検索して、それについて記述している論文を探し出すことができ

RN 125-51-9
 IN Piperidinium, 1-ethyl-3-[(hydroxydiphenylacetyl)oxy]-1-methyl-, bromide (9C1)
 SY Piperidinium, 1-ethyl-3-hydroxy-1-methyl-, bromide, benzilate (8C1)
 SY Benzoic acid, ester with 1-ethyl-3-hydroxy-1-methylpiperidinium bromide
 SY JB 323
 SY N-Ethyl-3-piperidyl benzilate methobromide
 SY Pipenzolate methobromide
 SY Pipital
 SY OPB
 SY Pipenzolate bromide
 SY Piper
 SY Pipitalake
 SY Pipital (tablet)
 MF C22 H28 N O3 . Br
 CI COH;

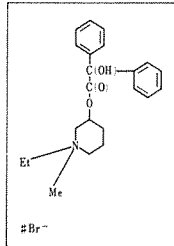


図1 Registry File の例

検索時の援助及び端末操作は図書館の掛員が行いますので、検索をご希望の方は、お気軽に附属図書館本館2階参考カウンターまでお越し下さい。

中之島地区で検索をご希望の方は、直接附属図書館本館に来られても結構ですし、中之島分館参考調査協力係でも受付けておりますので、お申し出下さい。

豊中地区・中之島地区では、CAS ONLINE使用料金は、DIALOG等の他のデータベースサービスと同様の従量制となっております。1回の検索にかかる料金は、3,000円～3,500円が一応の目安ですが、構造検索等を行う場合には追加料金が必要です。

吹田地区では、CAS ONLINEの大学特別割引制度による共同利用を行っております。この制度は、大学特別価格(例、3ヵ月約41万円、1年間約160万円)を一括前納することによって、契約期間中は、利用可能時間帯についてほぼ無制限に利用できるというものです。(但し、オフライン・プリントおよび原論文の発注については別途料金がかかります。)現在、吹田地区では、20以上の講座による共同利用制度がスタートしており、各講座の端末から検索を行うことができます。

ます。

(2) CA File

1967年以降のChemical Abstracts誌に掲載された約632万件の文献について、その書誌的事項と抄録及び索引語が入力されています。CA Fileについては、他のデータベースサービス機関からも提供されていますが、CASでは、全てのデータを一つのFileにまとめ、抄録を追加して、より使い易いものになっています。また、データの作成は、CASで行っていますので、他の機関よりも更新時期が早いのも利点の一つです。(図2参照)

AN CA96(9):67977z
 TI Resolution of the enantiomers of m- and p-hydroxymandelic acid by high performance liquid chromatography
 AU Klenzsch, W.; Von Hodenberg, A.; Vollmer, K. O.
 CS Dep. Biochem., Goedecke Res. Inst.
 LO Freiburg D-7800, Fed. Rep. Ger.
 SO HRC CC, J. High Resolut. Chromatogr. Chromatogr. Commun., 4(10), 535-6
 SC 22-3 (Physical Organic Chemistry)
 DT J.
 CO HGCJDB
 IS 0344-7138
 PY 1981
 LA Eng

AB (.,+)-RC6H4CH(OH)CO2H (R = H, p-OH, m-OH) were chromatog. resolved using L-phenylalanine-CuSO4 complex as eluent.

KW resoln mandelic acid liq chromatog; hydroxymandelic acid resoln liq chromatog

IT Chromatography, column and liquid (high performance, for resoln. of mandelic and hydroxymandelic acids)
 IT Resolution (of mandelic and hydroxymandelic acids by high performance liq. chromatog. using L-phenylalanine-copper sulfate eluent)
 IT 90-64-2 1198-84-1 17119-15-2 (high performance liq. chromatog. resoln. of, using L-phenylalanine-copper sulfate complex eluent)
 IT 611-71-2P 13244-75-2P 13244-78-5P 17199-29-OP 17513-99-4P 17514-00-OP (prepn. of)

図2 CA File の例

引用検索 (2) 研究の先端情報

図1は引用、被引用関係を表わしたものです。Aという文献がある — Aに引用されている文献Bがある — 次にBが引用されている(被引用)文献Cがある — そしてAを引用した文献EFが存在するということを表現しています。前号では、AからEFを探すことが着想の限界を補足し研究課題の発展につながるということを解説しました。

今回はAからCを見つけることによってそこに上記のこととは別の意味を見出し得ることを紹介します。図2を見て下さい。S論文はa、b、c、dを引用しており、Xはa、c、d、Yはb、cを引用しています。被引用文献a~dは年間の被引用頻度(一定の値)をパスしていました(引用されるのが多いということ)。ここでシステムは(a c)、(a d)、(c d)、(b c)という組み合わせを作ります。(この図ではa bとb dの組み合わせも共被引用の関係にあるといえる)。このペアとなった文献間共通の論究を反映した情報の流れが引用側文献(XYとS)に生じていると見ることができます。

一般に引用される頻度の高い文献は学術情報としての価値が高いと言われています。この考え方をさらに一歩すすめると、引用頻度の高い複数の文献が特定の文献にペアで引用されているということは、これらの引用文献及び被引用文献の集まりがペア文献群を土台とし引用側文献を先端とした価値の高い研究情報そのものであり、その客観性、正当性は被引用回数と共被引用回数が多ければ多いほど増強されることになります。

ペア文献群をコード化し、引用索引という手法を連結することによってSからa、b、c、dさらにXYも検索することができます。

今回は、図2の検索例をあげて実証したいとおもいます。

図 1

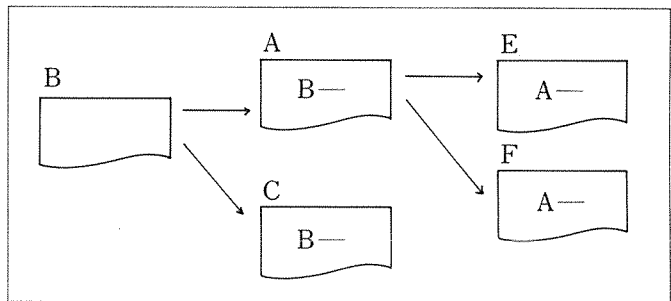
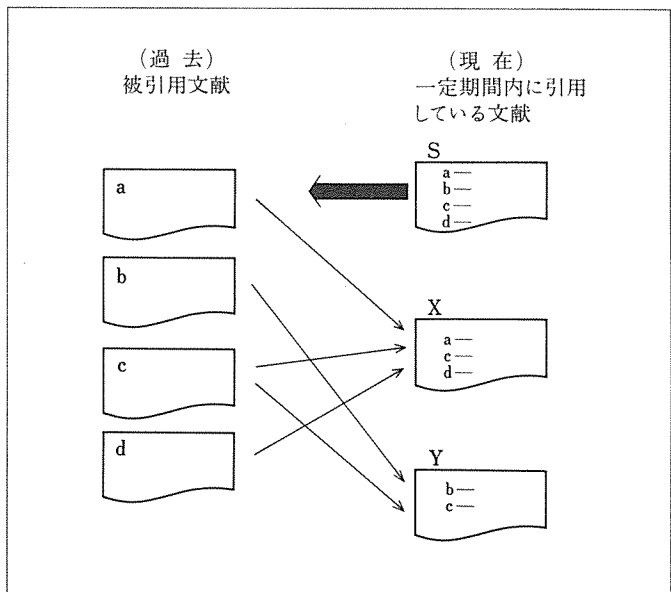


図 2



大型コレクション購入一覧 (昭和57・58年度)

	大 学	昭 和 57 年 度	昭 和 58 年 度	
外 国 図 書	北 海 道	ソ連の対外関係に関するエプシュタインの蔵書—ロシア史	ロシア亡命文学コレクション	
	北海道教育 小樽商科 東 北	米国連邦議会委員会刊行物総集成 (1971~1981年)	英国教育史コレクション(1850~1965年) モニトゥール・ユニヴェルセル紙 米議会・委員会刊行「諸種報告書・文 書総集成」(1903~1934年)	
	図 書 館 情 報	図書館情報学関係学位論文集成 (1930~1980年)	英国図書館研究開発部レポート集成 (1965~1983年)	
	筑 波	旧メキシコ大統領ディアス旧蔵コレク ション (19世紀前半~20世紀初頭)	国家社会主義法 (1933~1945年)	
	千 葉	フランス史資料集		
	東 京	米国連邦議会資料集 (1915~1969年) デルゲ版チベット大蔵経	カナダ判例・法令集	
	東 京 学 芸		ヘボンその他外国人編さんによる日本 語・東洋語辞書集成 (幕末~明治期)	
	東京外国語 東京芸術 東京商船 お茶の水女子 横浜国立 上越教育 金 沢	ベルシャ研究基本文献コレクション 運輸問題関連文献集成(1921~1971年) 女性史コレクション(19世紀~1970年代)	朝鮮日報 (1921年9月~1979年12月) 音楽学学位論文集 (1973年~) ロイド海事判例集	
	名 古 屋 京 都	心理学研究論文抄録(1927~1978年) 独議会議事録 (1949~1980年) 仏議会議事録 (1787~1794年) 英国近世初期書籍集成(1475~1640年) ゴールドスミス、クレス図書館所蔵 経済文献集成	ミラボー伯著作・資料集 音楽教育学位論文集(1971~1980年)	
	京都工芸織維 大阪外国語	デルゲ版チベット大蔵経 メンドロン編著「絵入りポスター」 ロシア・スラブ言語関係コレクション	チベット仏教全書 19世紀英国下院議会文書	
	兵 庫 教 育		ヤン・トーロップのグラフィック・デザイン インドネシア現代史政治資料集成 (1940~1970年)	
	神 戸 商 船	ハクルート協会探検航海記録 太平洋航海記集	アメリカ教育関係コレクション (1960~70年代)	
	広 島		教育科学学位論文に関するコレクシ ョン (1945~1980年)	
	山 口 香 川 愛 媛 九 州	ルネッサンス期英国百科叢書 世界経済コレクション 英国政府刊行物非議会刊行物 (1922~1977年) 百部双書集成 都市計画研究コレクション(20世紀)	フランスの哲学評論 ファイナンシャル・タイムズ誌	
	九州芸術工 科 本 熊 鹿 児 島	チャレンジャー号海洋探検学術研究報 告 (1872~1876年)	民国20年代中国大陸土地問題資料	
	琉 球	アメリカ公民権斗争の歴史資料	米国教育行政研究資料	
	国 内 図 書	帯 廣 畜 産 岩 手 宮 城 教 育 東 京 農 工 新 潟 潟 梨	日本帝国統計年鑑 故平間初男氏所蔵教育関係図書 農業教育用視聴覚資料	府県統計書集成 上杉文庫
		大 阪	文部省選定学術映画体育—レクリエー ション編 赤木文庫蔵「古浄瑠璃」コレクション (1633~1719)	
		島 根 医 科 九 州 大	厚生省、人口動態統計 近世後期戯作類コレクション	大正新脩大蔵経

昭和58年度 国立大学等図書館間文献複写実績

昭和58年度（上半期：58年4月～9月、下半期：58年10月～59年3月）における各国立大学、高専の図書館で受付処理した複写データの処理件数は、以下の通りである。

上半期： 82,475件

下半期： 80,483件

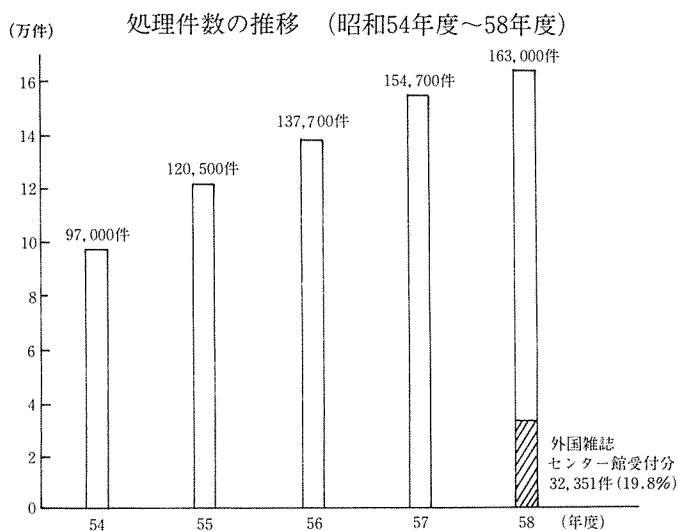
合計 162,958件

下半期は上半期に比べて、約2,000件減少しているが、前年度同期と比べると、それぞれ7.5%と3.2%増加している。

また、年度毎の処理件数の推移を見てみると下図の様になる。昭和58年度の処理件数は、昭和54年度（複写データ処理センター業務開始時）に比べると約1.7倍に達している。

昭和58年度処理件数の内、外国雑誌センター館受付分の件数を出してみると、32,351件、19.8%となっている。この6館で全体の2割の処理をしていることになる。

参考までに最も処理件数の多い受付館を挙げると、本学中之島分館で、年間約10,600件を処理している。



いちよう祭展示会開催

本学の創立記念日を祝して、「大阪大学いちよう祭」が、5月1日（火）と、2日（水）にかけて盛大に開催された。

5月1日（火）、図書館では、文学部・法学部・経済学部・附属図書館共催による展示会が開かれた。この展示会は、午前11時から、午後4時まで、本館、第2自由閲覧室（3階）を会場にして、学生・父兄および、教職員等、約300名の参観者があった。

展示会では、今回、本学が入手した、古浄瑠璃コレクション（旧赤木文庫）が、初めて公開された。これは、古浄瑠璃資料として、質量共に誇るべき文庫であり、稀覯書ぞろいの貴重書である。

その他、関係学部等の所蔵する貴重な図書資料が展示された。展示内容の概要は、次のとおりである。

- 文学部……考古学資料：1. 二千年前の阪大の先住者の足跡 2. 大阪府下の古墳出土品（大阪府柏原市ヌク谷古墳出土品ほか3市）。
- 法学部……1. 林子平「海国兵談」(1791年) 2. 「新律綱領、改定律例対比合巻」(1877年～明治7年) 3. 西周「万国公法」(1868年) 4. ヨーロッパ法学上の古典五種：ルソー「社会契約論」ほか4種等。
- 経済学部……1. 大坂三郷の水帳および附図 2. 鴻池善右衛門家「掛合控」、3. 鴻池善右衛門家米取引関係証文 4. 大坂の両替商富子助右衛門家「勘定帳」等。
- 図書館(他)……1. 古浄瑠璃コレクション(旧赤木文庫)：(1)丹緑本等初期浄瑠璃、寛永十年刊(1633年)の「灯台記」ほか61点。特別出品として「四国箱廻し人形・三番叟」三体(文学芸能史・演劇学研究室蔵) 2. 西洋古版地図上のシナ：附属図書館所蔵西洋製地図のうち、シナに關係のあるもの、サンソン「シナ図」[パリ・1640年頃]ほか、24種。
- いちょう祭委員会……本学関係の文化勲章受章者(13人)業績顕彰。

教官著作寄贈図書

——本館——

- 高橋昭二(文・教授)
カントとヘーゲル (晃洋書房 昭59)
若きヘーゲルにおける媒介の思想 上 (晃洋書房 昭59)
- 川北 稔(文・助教授)
工業化の歴史的な前提 (岩波書店 昭58)
- 久貴忠彦(法・教授)
相続の法律入門 第2版 (有斐閣 昭59)
- 中野貞一郎(法・教授)
民事執行法 上 (青林書院新社 昭58)
- 木村 滋(経・非常勤講師)
国際貿易論 第2版 H.R. Heller 著 (ダイヤモンド社 昭58)
- 千原秀昭(理・教授)
物理化学の基礎 P.W. Atkins 著 (東京化学同人 昭59)
- 堀井敏夫(教・教授)
パリ史の裏通り (白水社 昭59)
- 大高順雄(言・教授)
愛書趣味 M. Vaucaire 著 (白水社 昭59)
- 藤本和貴夫(言・助教授)
ヨーロッパ近代史再考 (ミネルヴァ書房 昭58)
日露・日ソ関係「200年史」 (新時代社 昭58)
- 有働正夫(健・教授)
スポーツ解剖学 J. Weineck 著

(オーム社 昭59)

- 大山良徳(健・教授)
わかりやすい学校保健の統計学 (東山書房 昭58)
- 奥野 弘(前庶務部国際主幹、現京都大学庶務部国際主幹) ソウル日記—韓国を30倍楽しく知る本 (幻想社 昭59)
これは、近くて遠い隣国についての、ひとりの健全な生活人による報告書である。
日本人にとってつねに「特別な国」であった韓国を、著者はひとつの普通の外国として、しかもそこで日常暮らした眼で眺めている。偏見もなく偏見を裏返したへつらいもない、この平常心の観察こそ、われわれの韓国理解にとって貴重な出発点となろう。
- 山崎正和(文学部教授)

——理学部分室——

- 千原秀昭(理・教授)
物理化学の基礎 P.W. Atkins 著 (東京化学同人 昭59)
- クールソン化学結合論 上 第3版 (岩波書店 昭58)
- 河合清三(理・講師)
いくつもの目—動物の光センサー (講談社 昭59)
- 生物物理学 改訂版 (裳華房 昭58)

——基礎工学部分室——

- 吉田邦久(基・助手)
Electrooxidation in organic chemistry; the role of cation radicals as synthetic intermediates. (Wiley, 1984)

■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■

——吹田地区運営委員会——

59. 2. 9. (木) 16:15~17:15 (吹田分館会議室)

協議事項 1. 吹田分館の施設整備計画について 2. 昭和59年度高額図書資料費(基本参考図書費を含む)の要求についてそれぞれ協議された。

——附属図書館体系検討小委員会——

59. 2. 20(月) 15:00~16:50 (本館会議室)

協議事項 1. 生物系図書館の新営構想骨子(案)については原案どおり了承された 2. 吹田分館施設増築計画(案)については増築規模を約2,000㎡とすることで了承された 3. 図書館の名称については継続協議となった 4. 本委員会が移転推進委員会を兼ねることについてそれぞれ協議された。

——吹田地区運営委員会——

59. 2. 24(金) 16:10~16:50 (吹田分館会議室)

協議事項 1. 吹田分館の施設整備計画について協議の結果、昭和60年度に約2,000㎡の増築を概算要求することで了承された。

——豊中地区運営委員会——

59. 3. 13(火) 13:25~14:00 (本館会議室)

協議事項 1. 昭和59年度基本参考図書(案)について協議の結果原案どおり承認された 2. 次期豊中地区運営委員長の選出について現委員長法学部矢崎光圀教授の任期満了にともない、選挙の結果、経済学部大澤豊教授が選出され次期委員長に決定された。

——図書館委員会——

59. 3. 13(火) 15:05~17:30 (本館会議室)

報告事項 1. 附属図書館体系検討小委員会について 2. 生物系図書館企画小委員会について 3. 高額図書資料懇談会について 4. 附属図書館事務部分課・分掌規程の一部改正についてそれぞれ報告があった。

協議事項 1. 附属図書館の施設整備計画について 2. 昭和59年度図書館事業費予算要求書(案)について 3. 昭和60年度図書館新規概算要求書(案)についてそれぞれ協議の結果原案どおり承認された。

■■■■■■■■■■ 日 程 ■■■■■■■■■■

- | | | |
|-----------|--------------------------------|-------------|
| 59. 1. 31 | 分館長会議 | (本 館) |
| 59. 2. 2 | 昭和59年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会(第2回) | (東京大学総合図書館) |
| 59. 2. 2 | 常務理事会(昭和58年度第2回) | (東京大学総合図書館) |
| 59. 2. 3 | 第20回大学図書館国際連絡委員会総会 | (東京大学総合図書館) |

59. 2. 6 国公立大学図書館協力委員会文献複写委員会（第30回）
（奈良県立医科大学）
59. 2. 9 吹田地区運営委員会（吹田分館）
59. 2. 20 大阪大学附属図書館体系検討小委員会（本館）
59. 2. 21 高額図書資料懇談会（第4回）（本館）
59. 2. 24 吹田地区運営委員会（吹田分館）
59. 2. 28 図書館ネットワーク連絡協議会ワーキング・グループ（大阪大学）
59. 2. 29 大学図書館におけるコンピュータネットワークに関する調査研究班会議
（名古屋大学）
59. 3. 9 第2回図書館ネットワーク連絡協議会（東京大学大型計算機センター）
59. 3. 13 豊中地区運営委員会（本館）
59. 3. 13 図書館委員会（本館）
59. 3. 28 近畿地区国立大学図書館協議会（京都大学）
59. 4. 27 近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会（昭和58年度第2回）
（京都大学）
59. 5. 7 国公立大学図書館協力委員会文献複写委員会（第31回）
（奈良県立医科大学）
59. 5. 15 国立大学図書館協議会常務理事会（昭和58年度第3回）（東京大学）
59. 5. 16 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会：東西地区合同専門審査委員会
（東京大学）
59. 5. 16 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会（第3回）（東京大学）
59. 5. 16 国立大学図書館協議会理事会（昭和58年度第3回）（東京大学）
59. 5. 17 第14回国公立大学図書館協力委員会（東京大学）
59. 5. 29 近畿地区国公立大学図書館協議会参考図書に関する委員会（京都大学）
59. 5. 30 国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科大学）
59. 5. 31 外国雑誌センター館会議（東京大学）

人事

59. 2. 1 辞 職 新井 淳子 吹田分館運用掛事務補佐員
59. 3. 31 退職(任期満了) 矢崎 邦子 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 松村 圭子 医学情報課受入掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 中川ユリ子 吹田分館目録掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 枝川 登 閲覧課参考掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 清田 修 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 吉野 雅成 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 杉山 一也 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 中村 孝 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 鶴川 充 医学情報課運用掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 小坂 明子 吹田分館目録掛事務補佐員
- 〃 〃 (〃) 北岡 一夫 吹田分館運用掛事務補佐員

59. 3. 31	退職(任期满了)	三宅 豪	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃 (〃)	平木 明敏	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃 (〃)	畠山 耕一	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃 (〃)	鄭 雨 光	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃 (〃)	厚見 卓也	吹田分館運用掛事務補佐員
59. 4. 1	辞 職	十川 一登	閲覧課長
59. 4. 1	配 置 換	木本 明男	閲覧課長(岡山大学附属図書館整理課長)
59. 4. 1	併 任 解 除	伊藤 祐三	整理課図書館専門員 学術情報掛長の併任解除
〃	配 置 換	清水 義子	閲覧課閲覧第三掛長(医学情報課目録掛長)
〃	〃	河崎 戎三	医学情報課目録掛長(閲覧課閲覧第三掛長)
〃	転 任	故選 義浩	整理課学術情報掛長(兵庫教育大学教務部図書課整理係長)
〃	〃	石井 道悦	兵庫教育大学教務部図書課整理係長(閲覧課閲覧第一掛)
〃	配 置 換	片山 俊治	閲覧課閲覧第一掛(整理課学術情報掛)
〃	所 属 換	東田 葉子	整理課和漢書目録掛事務補佐員(閲覧課閲覧第三掛)
〃	〃	村上 安子	閲覧課閲覧第三掛事務補佐員(整理課和漢書目録掛)
〃	採 用	後藤みどり	閲覧課参考掛事務補佐員
〃	〃	森田 二郎	閲覧課参考掛事務補佐員
〃	〃	飯田 俊幸	閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
〃	〃	神田 有	閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
〃	〃	山本 佳樹	閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
〃	〃	中崎 明弘	閲覧課閲覧第一掛事務補佐員
〃	〃	安賀 章子	医学情報課受入掛事務補佐員
〃	〃	馬嶋 説子	医学情報課運用掛事務補佐員
〃	〃	加藤美千代	吹田分館目録掛事務補佐員
〃	〃	工藤 啓子	吹田分館目録掛事務補佐員
〃	〃	内田 久子	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃	伊藤 宏志	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃	舛形 芳樹	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃	大西 宏和	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃	磯野 貴宏	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃	和田 克則	吹田分館運用掛事務補佐員
〃	〃	吉田 智信	吹田分館運用掛事務補佐員
59. 4. 7	辞 職	安賀 章子	医学情報課受入掛事務補佐員
59. 5. 1	採 用	三木 幸江	医学情報課受入掛事務補佐員
59. 5. 1	所 属 換	平林 和子	閲覧課閲覧第一掛(閲覧課参考掛)
〃	〃	藤塚 紫朗	閲覧課閲覧第一掛(閲覧課参考掛)
〃	〃	草川 睦	閲覧課閲覧第一掛事務補佐員(閲覧課参考)

59. 5. 1 所 属 換 山之内弘子 掛) 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員 (閲覧課参考掛)

編 集 後 記

これまで大阪大学附属図書館では、本館、中之島分館、吹田分館それぞれが独自に館報を編集・発行してきましたが、今年度より全学の館報の発行を一本化することになりました。これは、近年各学問分野間のつながりがますます緊密になり、それぞれ独自の主題をもつ学内の各図書館(室)が相互協力して、一体として全学の構成員にサービスを提供していく必要が増してきているとの考え方にもとづくものです。

とはいえ、この方針は、学内の各図書館(室)の独自性を否定するものではありません。全学に共通する問題を共通の紙面で提供するとともに、各館(室)のもつ主題や利用者層の違いからくる独自の問題については、各館(室)にそれぞれの頁を割り当て、独自にも活用できるようにしようというものです。したがって、これまで各館が独自に発行していた館報

大阪大学図書館報



は新しい館報の中に発展的に吸収・継承されることになります。

私たちは、この新しい館報の発行を通じて、全学の構成員が全学のどの図書館(室)をも自分たちの図書館(室)として育てていただくことを期待します。なぜなら、本学においては、身近な図書館(室)を通じて、学内のどの図書館(室)からもサービスを受けることができるからです。

大阪大学図書館報 Vol. 18, No. 1/2 通巻76号 昭和59年6月1日発行(隔月刊)
発行所 大阪大学附属図書館 豊中市待兼山町1の1 (〒560) ☎ 06(844)1151 内線2355